



# ボヌール デイケア通信

令和八年四月

咲き始めて、じき満開だと思っていたら、もう散っている桜。そのさまを、世の中の移り変わりの早さに重ねて表したのが、左の大島蓼太(与謝蕪村らと活躍した江戸中興五傑の一人)の句です。はかなさを詠んだ達観の句でありながら、見渡す限りの花霞、散る花嵐の画像が浮かび、晴れやかさがあります。

## 世の中は 三日見ぬ間の桜かな

桜を見ると、私たちは自分が日本人らしい美意識を持ち合わせていることに気づきます。なぜこうも心が揺さぶられるのでしょうか。

美意識と言っても、見事散りましよ、の価値観は遠い過去のもの。ここでは、時世の庄によらない、自分の内にある感性を探ってみましょう。

入学、入社、初めての一人暮らし、転勤等、人生の新たな扉が開く時、そこには桜が舞う風景がありました。時を経て、またこの季節が巡ってきたなあ、と想いを馳せる。今こうしてここにいることに、感じ入る。

また、文禄三年に豊臣秀吉が催した五千人規模の「吉野の花見」が原型となった、桜を愛でる文化の影響もあるでしょう。後に全国へ広がり、江戸幕府が政策として、桜の大規模植樹を施行。庶民へ意図的に定着させた「社会的文化」ではありますが、満開の桜の下では、政(まつりごと)を越えて、人と人の間の空気が柔らかく変化し、心の甲冑(かっちゅう)の緒もゆるむ。

この感覚が、いつの世も人の心を揺さぶるのかもしれないですね。

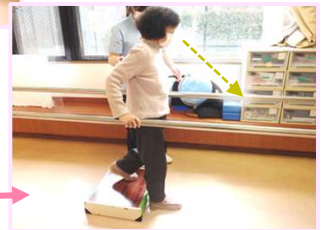
※リハビリは、間が三日あいても問題ありません。週2回以上、長期継続をおすすめしています。

さあ～、  
次のイベント食は？  
『朝ドラふるさとごはん』  
のシリーズが、始まりまあ～す。



「段差を目で確認して  
から上がりましょう」

理学療法士の  
声かけで、  
動作手順  
の修正。



「降りるときは、少しだけ  
先の地面を見ましょう」

声かけを理解して動く時  
からだの機能と同時に、  
脳も、高度な働き  
をしています。



運動後のお楽しみ、  
水圧マッサージ。  
疲れを翌日に  
残しません。  
身長に応じ  
設定可能。



R8.3.18 イベント食 花想い(最終回)は山口県のハレの日寿司でした。

豆腐入り煮物(けんちょう)や、伝統野菜(ちしや)が珍しかったですね。





R8.4.6昼の行事食《お花見弁当》をお楽しみいただきました。

今年も施設近くの穴場へ  
ドライブ♪

## お花見外出レク



来年もいっしょに  
観ましょう♪



お天気が不安定な中、  
満開を観ることができて  
ラッキーでしたね♪



新年度を迎え、より多くのご利用者様の必要にお応えできますよう、また、ボヌールデイならではの楽しいひと時をご提供できますよう、施設をあげて改善に取り組んでまいります。

お気づきの点、ご意見、その他何でも、連絡帳などにてお寄せいただけますと幸いです。よろしく願い申し上げます。ボールデイケア職員一同